

令和2年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門				
政策No.	25	誰もがスポーツを楽しむことができる機会の確保と環境を整備する		
所管部	教育推進部	関係部		
2 政策がめざす方向性				
<p>子どもから高齢者まであらゆる世代の誰もがライフステージに応じて「する」「みる」「支える」を気軽に楽しめるスポーツ活動を推進します。障害者のスポーツ活動への参加を促すとともに、区民が障害者スポーツを体験できる機会を創出し、障害の有無にかかわらず、相互理解や交流を広げます。スポーツ団体の活動を支援するとともに、企業や団体などとの連携により、区民が地域で仲間とスポーツを楽しむ環境づくりを推進します。様々なスポーツのニーズに対応した身近にスポーツを楽しむ場を確保します。</p>				
3 施策の取組状況（詳細別紙施策評価シート）				
評価区分 A（達成）、B（概ね達成）、C（達成が不十分）				
①	施策名	誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の促進	評価	A
	成果目標	スポーツ活動のきっかけづくりが創出されており、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができている		
②	施策名	スポーツを通じた仲間づくり・地域づくり	評価	B
	成果目標	スポーツ活動への参加や交流が活発に行われている		
③	施策名	身近にスポーツを楽しむ場の確保	評価	B
	成果目標	住まいや職場など身近な場所で、スポーツを楽しむことができている		
④	施策名		評価	
	成果目標			
⑤	施策名		評価	
	成果目標			
⑥	施策名		評価	
	成果目標			
4 予算額・決算額・執行率（単位：千円）				
年度	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	
予算額	1,056,986	1,008,712	1,026,188	
流用・補正	9,458	24,826	-	
決算額	1,044,322	962,368	-	
執行率	97.9%	93.1%	-	
予算・決算額の推移	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度：スポーツセンターが東京2020大会の公式練習会場として使用されることから、アリーナの壁面強化工事実施、子どものスポーツ振興補助金開始 令和元年度：ラグビーワールドカップ2019のパブリックビューイングを実施、運動場のバリアフリー工事を実施 			

5 政策を取り巻く社会経済状況等	
計画期間中の社会経済状況等の変化 ・社会経済状況 ・人口動向（年少人口、生産年齢人口、老年人口） ・財政状況など	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自宅内で運動・スポーツを行う方法や屋外で安全・安心に運動・スポーツを行う際の周囲への配慮等について、国等からガイドラインが示されています。 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の延期により、気運醸成の取組をはじめとする大会関連事業も見直しや再調整をしています。
区民ニーズ等 ※区民アンケートや調査、区民から寄せられた意見等	・港区スポーツセンターや芝公園多目的運動場プールの高校生料金を、平成29年4月より子ども料金と同一料金にしたことにより、利用者が増加しています。大変混雑していることから、利用者からの施設利用に関する意見、要望が増えています。 ・令和元年10月に実施した区民アンケートには、区がスポーツを推進するために重点的に進めた方が良い施策として、知り合いがいなくても取り組みやすい機会・環境の充実、初心者が取り組みやすい機会・環境の充実等が求められています。さらに、スポーツ実施率の低い「30歳代」「未就学児と同居している」の属性から、子育て中の人取り組みやすい施策が求められていることが読み取れます。
6 一次評価（所管部門による評価）	
	施策の達成度 A:達成 1 B:概ね達成 2 C:達成が不十分 0
政策の達成状況	・区立運動施設の利用状況は、子どもから高齢者まであらゆる世代において増加しています。あわせて、障害のある方にも利用しやすいように、区立運動場のバリアフリー化に取り組みました。 ・令和元年9月に区内で3団体目となる総合型地域スポーツ・文化クラブ（スポーカル青山）が設立され、身近な地域でスポーツや文化活動を楽しむことができる場を拡充しました。
今後の政策の方向性 重点的・優先的に取り組む施策、課題等 ※国や東京都、他団体の動向、区民ニーズ等を踏まえる	みなとタウンフォーラム及びスポーツ推進計画検討委員会から、区が様々な事業を展開しているのに情報が届いていないとのご意見をいただいています。こうしたことから、スポーツセンターをはじめ区立運動施設の情報発信するとともに、使用率の低い学校プール開放事業や、総合型地域スポーツ・文化クラブの活動状況など、SNS等を活用した情報発信を検討していく必要があります。区民がより身近にスポーツを楽しめる場を拡充し、港区スポーツ推進計画に掲げるスポーツ実施率の達成に向け取り組みます。
7 二次評価（港区行政評価委員会による評価）	
	<input checked="" type="checkbox"/> A:達成 <input type="checkbox"/> B:概ね達成 <input type="checkbox"/> C:達成が不十分
政策の達成度	・全ての施策について、大半の活動指標が目標に達しており、成果目標を達成しています。
今後の政策の方向性 重点的に取り組む施策・課題	・政策の方向性は妥当であるため、政策を引き続き推進するとともに、より充実・強化することが必要です。 ・昨今の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、密を避け感染対策を考慮した安全な事業実施も検討する必要があります。

施策評価シート

施策① 誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の促進					A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	生涯学習スポーツ振興課	関係課		評価	A：達成	
成果目標	スポーツ活動のきっかけづくりが創出されており、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができている					
成果目標の達成状況及び評価	・成人の週1回のスポーツ実施率について、スポーツ推進計画改定に向けたアンケート調査において、算定しています。平成29年度は、41.1%、平成31年度は60.4%となっており、大幅に上昇していますが、スポーツ推進計画で掲げた数値目標(65.0%)は下回っています。					
今後の施策の方向性・課題	ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機とし、区民の「する」「みる」「支える」スポーツ活動がより一層拡大されるよう取り組みます。					
施策の推進のため取り組んでいる事業						
1 東京2020大会等に向けた気運醸成の取組の推進					生涯学習スポーツ振興課	
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
イベント・大会の開催事業数	3事業/年	3事業/年	3事業/年	3事業/年	2事業/年	A：達成
達成状況	東京2020大会等の開催を契機とした区民の「する」「みる」「支える」スポーツ活動の促進に向けて、オリンピック・パラリンピアン等のトップアスリートによるスポーツ教室やラグビーワールドカップ2019のパブリック・ビューイング、ポート・スポーツ・サポーターズクラブ事業によるスポーツボランティアの養成事業を行いました。今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により開催事業数の減少が見込まれます。					
今後の方向性・課題	東京2020大会等のレガシーとして、区民の「する」「みる」「支える」スポーツ活動が定着するよう、区内企業等と連携しながら、子どもから高齢者まで、障害の有無に関わらず誰もがスポーツに親しみ、スポーツへの関心を高められるよう取り組みます。また、事業の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症に関して国等から示されているスポーツイベントの再開のガイドラインに基づき、感染防止対策を徹底します。					
2 健康、体力、いきがづくり					生涯学習スポーツ振興課	
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
地域スポーツ教室の開催件数	80回/年	88回/年	86回/年	86回/年	65回/年	A：達成
達成状況	スポーツ推進委員が主体となって開催する地域スポーツ教室において、親子で気軽に参加できる「ウォーキングサッカー」や「スポーツチャンバラ」、障害者の方も気軽に参加できる「ポッチャ」などを実施しました。今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により教室の開催件数の減少が見込まれます。					
今後の方向性・課題	参加者が少ない教室もあるため、内容や種目の検討が必要です。参加者アンケートを活用し、ニーズに合わせた教室が実施できるよう、スポーツ推進委員と協力して企画・調整します。また、事業の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症に関して国等から示されているスポーツイベントの再開のガイドラインに基づき、感染防止対策を徹底します。					

3 スポーツ観戦の機会の創出							生涯学習スポーツ振興課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
イベント・大会の開催件数	3回/年	4回/年	6回/年	5回/年	4回/年	A:達成	
達成状況	港区スポーツセンターで様々な競技の公式試合を開催するなど、トップレベルのスポーツを区民が「みる」機会の拡大に取り組みました。今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりイベント・大会の開催件数の減少が見込まれます。						
今後の方向性・課題	多くの大会等を誘致することで区民の施設利用に影響を及ぼすことがないよう、また、特定の競技に集中しないよう、調整や工夫が必要です。また、事業の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症に関して国等から示されているスポーツイベントの再開のガイドラインに基づき、感染防止対策を徹底します。						
4 港区ならではのスポーツ文化の醸成							生涯学習スポーツ振興課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
イベント・大会の開催件数	5回/年	5回/年	6回/年	4回/年	5回/年	A:達成	
達成状況	区内に多くの企業が立地する港区の特徴を生かし、区内企業や団体と連携し、タグラグビー体験会や、親子バドミントン教室などを開催しました。今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりイベント・大会の開催件数の減少が見込まれます。						
今後の方向性・課題	引き続き企業や団体と連携してイベント・大会を実施していくために、トップチーム・アスリートを抱えている企業等に事業への協力を積極的に働きかける必要があります。また、事業の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症に関して国等から示されているスポーツイベントの再開のガイドラインに基づき、感染防止対策を徹底します。						
5 障害者のスポーツ活動への参加の促進と普及・啓発							生涯学習スポーツ振興課
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
障害者のスポーツ活動の促進に関わるイベント・大会の開催回数及び参加者数	開催回数4回/年 参加者数240人/年	開催回数5回/年 参加者数300人/年	開催回数5回/年 参加者数720人/年	開催回数3回/年 参加者数397人/年	開催回数3回/年 参加者数150人/年	B:概ね達成	
達成状況	障害の有無に関わらず、誰もが同じ場所でスポーツを行う機会を提供するため、障害者スポーツ体験イベントを開催したほか、競技団体とも連携し、体験機会の創出に取り組みました。令和元年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、3月に予定していた普及イベントと体験会が中止となりました。今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりイベント・大会の開催回数及び参加者数の減少が見込まれます。						
今後の方向性・課題	障害者福祉課と協議しながら、開催場所や開催手法を工夫し、継続的な機会創出に取り組んでいきます。また、事業の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症に関して国等から示されているスポーツイベントの再開のガイドラインに基づき、感染防止対策を徹底します。						

施策評価シート

施策② スポーツを通じた仲間づくり・地域づくり					A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	生涯学習スポーツ振興課	関係課		評価	B：達成	
成果目標	スポーツ活動への参加や交流が活発に行われている					
成果目標の達成状況及び評価	区内で3つめの総合型地域スポーツ・文化クラブとなる「スポーカル青山」を令和元年度に新たに設立し、区民のスポーツ活動への参加促進や交流機会の充実を図るとともに、（公財）港区スポーツふれあい文化健康財団及び（一財）港区体育協会と連携したスポーツイベントや大会を開催することで、誰もがスポーツに気軽に親しむことができる機会の提供に取り組みました。					
今後の施策の方向性・課題	区民のスポーツ活動のより一層の促進とスポーツを通じた交流機会の充実に向けて、関係団体との連携を図りながら、スポーツイベントや教室の内容充実に取り組みます。また、区民のスポーツ活動を「支える」スポーツボランティアの育成にも取り組みます。					
施策の推進のため取り組んでいる事業						
1 総合型地域スポーツ・文化クラブ（スポーカル）の設立及び運営支援 生涯学習スポーツ振興課						
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
総合型地域スポーツ文化クラブのクラブ数	2クラブ	3クラブ	2クラブ (±0クラブ/年)	3クラブ (+1クラブ/年)	3クラブ (±0クラブ/年)	A：達成
達成状況	平成19年11月に港区で初めてのスポーカルとして「スポーカル六本木」が設立、平成25年7月には区内2つめとなる「スポーカル高松」が設立され、運営補助を行ってきました。区内で3つめの総合型地域スポーツ・文化クラブとなる「スポーカル青山」の設立に向け、平成30年度から計12回の設立運営委員会において準備を進め、令和元年9月22日に設立されました。					
今後の方向性・課題	スポーツ推進委員から構成するスポーカル委員会で、第4のスポーカル設立に向けて、検討を進めます。また、各スポーカルが自立した運営ができるよう必要な支援を行います。					
2 地域スポーツ組織の活動支援 生涯学習スポーツ振興課						
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
社会体育団体育成事業補助団体数	24団体	26団体	20団体 (-4団体/年)	17団体 (-3団体/年)	15団体 (-2団体/年)	B：概ね達成
達成状況	港区におけるスポーツ指導者の育成やスポーツ振興を充実するため、継続して社会体育団体の経費（講師料）の助成や団体の施設使用料の減額などの支援を実施しました。平成30年度までは、申請のあった団体全てを助成の対象としていましたが、要綱の助成の目的に適していない団体もあったことから、令和元年度より申請内容を精査し、助成対象団体数が減少しました。					
今後の方向性・課題	団体に助成制度の趣旨が理解されていないため、助成要綱を満たさない申請が多くありました。制度の趣旨が適切に伝わるよう、資料をわかりやすく修正し、周知します。また、助成制度の見直しを行います。					

3 「(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団」・「(一財)港区体育協会」との連携生涯学習スポーツ振興課

活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
「(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団」・「(一財)港区体育協会」との連携によるイベント・大会の参加者数	55,000人/年	56,000人/年	62,615人/年	68,673人/年	30,000人/年	A:達成
達成状況	(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団及び(一財)港区体育協会と連携し、みなと区民スポーツ・体育祭などのスポーツイベントを実施し、区民のスポーツ活動への参加の促進と体験機会の充実に取り組んできました。 今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりイベント・大会の参加者数の減少が見込まれます。					
今後の方向性・課題	誰でも気軽にスポーツに親しむことができるイベント等の開催に向け、(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団及び(一財)港区体育協会との連携を強化し、区民のスポーツ活動の充実を図ります。 また、事業の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症に関して国等から示されているスポーツイベントの再開のガイドラインに基づき、感染防止対策を徹底します。					

4 スポーツボランティアへの参加促進 生涯学習スポーツ振興課

活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
ポート・スポーツ・サポーターズクラブ事業(スポーツボランティア育成事業)の参加者(応募者)数	79人/年	100人/年	91人/年	68人/年	100人/年	B:概ね達成
達成状況	スポーツボランティアを育成するため、ポート・スポーツ・サポーターズクラブ事業を実施し、スポーツボランティアとして必要な知識の向上と実践経験の場の提供に取り組ましました。令和元年度は、ラグビーワールドカップ2019、東京2020大会のボランティア研修やテストイベント等、全国規模の大会が多く開催され、区の講座に参加する時間が取れないとのことで応募者が減少しました。令和2年度は、大規模な大会もなく、東京2020大会も延期されたことから、講座への参加が増える見込みです。					
今後の方向性・課題	スポーツボランティアとして育成した人材が活躍できるスポーツイベントが少ないため、(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団や(一財)港区体育協会のほか、競技団体との連携を深め、スポーツボランティアが活動できる機会を創出していきます。					

5 スポーツ・レクリエーション情報の提供 生涯学習スポーツ振興課

活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
港区スポーツセンターのホームページ更新件数	430件/年	430件/年	620件/年	506件/年	430件/年	A:達成
達成状況	港区公式ホームページだけではなく、スポーツ施設指定管理者や(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団、(一財)港区体育協会のホームページなどを活用し、積極的なスポーツ施設の情報提供に取り組んできました。平成30年度、令和元年度は東京2020大会やラグビーワールドカップ2019関連でスポーツセンターの利用に制約が出ることを周知のため、更新件数が大幅に増加しましたが、令和2年度は通常に戻ることを想定しています。					
今後の方向性・課題	ホームページの内容をより一層充実するとともに、チラシ、ポスター、パンフレットなども見直し、より区民に情報が伝わる仕組みを検討していきます。					

施策評価シート

施策③ 身近にスポーツを楽しめる場の確保					A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	生涯学習スポーツ振興課	関係課	高齢者支援課	評価	B：概ね達成	
成果目標	住まいや職場など身近な場所で、スポーツを楽しむことができる					
成果目標の達成状況及び評価	区立の小中学校の体育館や校庭等を開放したり、民間の運動施設の借上げ等を行うことで、住まいや職場など身近な場所でスポーツを楽しむことができるようにするとともに、区立運動施設のバリアフリー化を実施することで、高齢者や障害のある人でも身近にスポーツを楽しむことができるよう努めました。					
今後の施策の方向性・課題	小中学校の利用者数及び運動施設の利用者数ともに年々増加しているため、より多くの団体が利用できるような手法を検討する必要があります。また、既得権を主張する既存の団体への説明などの調整も必要です。					
施策の推進のため取り組んでいる事業						
1 区立のスポーツ施設等の整備・充実				生涯学習スポーツ振興課		
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
スポーツ施設等の整備数	2件	5件	3件 (+1件/年)	7件 (+4件/年)	7件 (±0件/年)	A：達成
達成状況	平成29年度から令和2年度までに、延べ5施設の整備を行うことを目標としていました。令和2年度中の整備予定はありませんが、延べ7施設を整備しているため、目標を達成します。青山運動場及び芝給水所公園運動場の人工芝張替え、スポーツセンターシャワー室の改修、青山運動場、芝浦中央公園運動場、埠頭少年野球、芝給水所公園運動場のバリアフリー化を実施しました。					
今後の方向性・課題	令和2年度には施設の整備予定はありませんが、令和3年度の麻布運動場の野球場人工芝化に向けて設計委託を行います。					
2 スポーツセンターと関連施設との連携				生涯学習スポーツ振興課		
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
連携事業の参加者数	1,000人/年	1,100人/年	1,077人/年	871人/年	536人/年	B：概ね達成
達成状況	港区スポーツセンターのプールで高齢者を対象とした水中歩行教室を高齢者支援課の介護予防事業として、実施しました。スポーツセンターとしてかかった経費はありません。今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により事業参加者数の減少が見込まれます。					
今後の方向性・課題	今後は、介護予防総合センターだけではなく、健康増進センターとの連携事業の実施に向け、取り組んでいきます。また、事業の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症に関して国等から示されているスポーツイベントの再開のガイドラインに基づき、感染防止対策を徹底します。					

3 学校施設の活用の推進		生涯学習スポーツ振興課				
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
小・中学校一般開放・スポーツ開放の利用者数	330,000人/年	340,000人/年	406,221人/年	376,467人/年	300,000人/年	A:達成
達成状況	<p>地域の人々のスポーツ活動の場として、教育委員会に登録した港区立学校施設等使用事前届出団体等に、小中学校の校庭及び体育館を開放し、学校施設の活用を推進しました。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に利用者数の減少が見込まれます。</p>					
今後の方向性・課題	<p>各学校と協議をしながら、より多くの新規の港区立学校施設等使用事前届出団体が利用できるような手法を検討します。</p> <p>また、事業の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症に関して国等から示されているスポーツイベントの再開のガイドラインに基づき、感染防止対策を徹底します。</p>					
4 民間スポーツ施設等の活用		生涯学習スポーツ振興課				
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
民間スポーツ施設等の活用数	1 施設/年	2 施設/年	1 施設/年	1 施設/年	1 施設/年	B:概ね達成
達成状況	<p>江戸川河川敷グラウンドの借上を行い、区民のスポーツ活動の場として提供するなど民間スポーツ施設の活用を行いました。また、都立芝公園運動場（野球、テニス）について、区民優先で利用できる枠を確保しました。</p>					
今後の方向性・課題	<p>引き続き、江戸川河川敷グラウンドの借上及び都立芝公園運動場の区民優先枠を確保します。また、区内の大学等が所有する運動施設の活用に向けて、大学側の条件を踏まえ、利用方法を再検討したうえで打診していきます。</p>					